

世界最小H・265対応ライブ映像中継システム

ソリトンシステムズ

ソリトンシステムズ「S」を展示する。

「映像伝送EXPO 2017」に、世界最小最軽量H・265対応ライブ映像中継システム「Smarttelecaster Zao」



④犬に装着した例と専用シールドバッグ⑤



er Zao」をさらに小型化・軽量化したモデル。本体の体積を40%以下、重量を約350gにしたことさらなるポータビリティを追求している。HDS-SDI入力とHDMI入力の両方に対応、モバイル回線を3回線束ねることができる。受信については、無償のソフトウェアをダウンロードして、受信機がなくても、PCなどでIchのみだSmarttelecaster Zaoの重量を約350gにしたことさらなるポータビリティを追求している。60分駆動する。なお、専用のシールドバッグが標準品として同梱される。2017年4月に米国、東南アジア、中東、ブラジルなども含まれる。すでに出荷を開始している。

小型車両に簡易中継・配信システムをパッケージング

システムファイブ

システムファイブは、伝送対応スマート中継車「映像伝送EXPO 2017」に、新開発のIP-STAR」の他、災害時の現

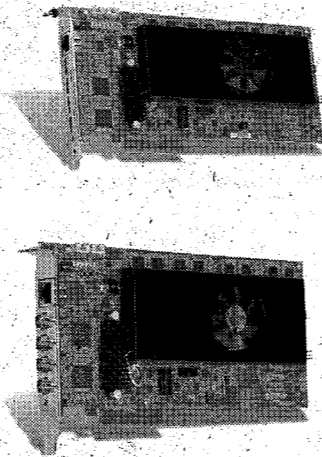


Easy-Meetingシステムをパッケージングして、街角などのミニ中況のリアルで対応可能な車。SDI-WIFI様々な伝送車体後部に搭載して、LTE回線

4K・8K対応IPを多彩な伝送ソリューション

ジャパンマテリアル

ジャパンマテリアル「IP伝送ソリューション」は、「映像伝送EXPO 2017」に、4K・8K対応IP伝送ソリューション「MURAI PX」を展示する。「Matrix Mox Mavevex 6100」はPCI Express 3.0 x8カードで、4つのMini HDMI最大4つの4096x2160@30Hzのキャ



Matrix Mox Mavevex 6100 MURAI PX

ブチャが可能。いずれも、教育・セキュリティ・医療・自治・放送・イベントなど多彩なシーンで利用できる。10GbE IP対応Video-over-IPソリューションを紹介する。

「VIDEO OVER IP」を広く遠隔伝送可能「VIDEO OVER IP」

ワイレージアイランド

ワイレージアイランド（東京都港区、ヴァンドルフミカエル社長）は、TICOビジョン（ユアリー・ロス）の高性能コーデック「ERDD-35」方式による低遅延エンコーダ、デコーダ「VICOR」4.4K対応とが可能。遅延量は4K

「VICOR」は3月21日から海外販売を開始した。4K配信ソリューションに対する需要は、日本国内のみならず、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどワールドワイドに広がってきている。ワイレージアイランドは、今回自社開発した「VICOR」の海外販売を

「VIDEO OVER IP」を広く遠隔伝送可能「VIDEO OVER IP」

アイ・ディ・ケイ

アイ・ディ・ケイは、第1回映像伝送EXPOにおいて、欧米で非常に注目を集めている「VIDEOLAN、RS-232C」などを伝送する技術だ。アイ・ディ・ケイのVIDEO OVER IP機器は、伝送に光ファイバーケーブルを使用することにより、伝送路上でのマイクロ波・RFノイズ・雷サージなどのノイズにも強い長距離伝送を可能にする。アイ・ディ・ケイでは、同製品としてHDMI信

8K撮影から再生までのリアルタイム「IP」

アストロデザイン

アストロデザインは、「映像伝送EXPO 2017」に、8K技術を中心に8Kの撮影から収録・再生、表示までのリアルタイムソリューションを紹介する。

特に注目されるのが8K 55インチ液晶モニター「DM-3815」。8K解像度7680x4320ピクセルのフルスペック8K（120p）表示可能なモニターで、入力I/Fに「SDI（A/RIBSTD-B5）」と「3G-SDI X16本を実装し、より使いやすくなっている。フルスペック

生をコンパクトな装置一台で実現するため、グラブスバレー社のHDX技術を採用しハードウェア化して組み込んでいる。HDX技術はイントラフレームでの信号処理を行うっており多様な編集システムへの対応が容易に実現可能。

「IP」をはじめ、対応したVIER IP Pネットワピデオウォマルチビ像システム

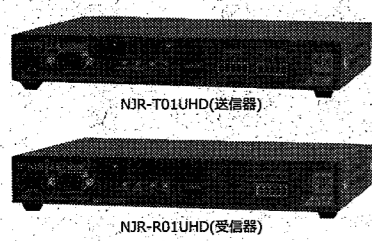


DM-3815

また、フルスペック8K SSDレコーダ「HR-17518/HR-17518-1A」も出展する。8K圧縮記録に対応したSSDレコーダで、フル解像度、フルスペックの8K信号の記録再

高速デジタルインターフェースソリューションとして、HDMIスタなどを展示する。8K4Kなどの高精細な映像信号をディスプレイ機器に伝送する際のインターフェースとして、HDMIやDisplayPortの送

送の送出設備・受信機開定運用を実現するもの。



NJR-T01UHD (送信機)

NJR-R01UHD (受信機)

また、一

出展各社の主力製品紹介

災害時リアルタイム伝送システムは、超高感度カメラを搭載した全天候型ドローンと、高倍率レンズを搭載したリモートカメラからの映像を遠隔操作で24時間収集共有。災害時の初動調査や状況把握のための情報収集に特化したソリューション。緊急時の状況を人間が目視でもとらえるウェアラブルカメラとLTE回線を利用した、TVU One with ウェアラブルカメラも終日実演する。

ライブ映像制作配信システムは、米Newtek社「TriCaster E」を中心としたソリューションを展示。ブース内のスマートフォンやモバイル映像伝送システム、災害時リアルタイム伝送システムからの映像信号を受信し、スイッチング編集から複数の中継先への配信を行うワークフローのデモを実施する。クロマキー合成によるバーチャルスタジオ撮影などの実演も行う予定。

4K8K対応の高品質伝送機器を提案

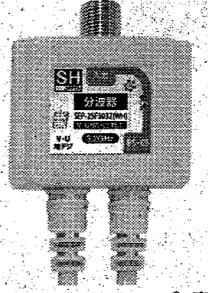
ソリッド

ソリッドは、4K8K 価値サービスを展開する場合、伝送機器にも高い信頼性が求められる。ソリッドでは、プレミアム認証HDMIケーブル、JETA H2対応のRF伝送機器、光ファイバー・LAN関連部材など、これらからコンテンツの伝送に欠かせない機器・部材を多数出展する。

SHマーク登録ケーブル付分波器

また、IPカメラの展示エリアでは「View laXIoT」と題し、「ZiWAVE対応View la」を使用したストリートビューの体験コーナーを用意している。

ソリッドでは、店舗運営における「業務効率化・人手不足解消」をコンセプトに、防犯にとどまらず新しいスタイルのカメラオペレーションを提案していく。



転送量を大幅削減するセキユノ高速転送システム

シミュレテイオ

シミュレテイオは、大幅な増加に伴い、転送の効率化が求められている。セキユノ高速大容量ファイル転送システム「HSFT」を中心に展示する。

専用機器を用いることなくクライアントのみのソフトウェアをインストールし、ネットワークを介して行うだけで高速化が望めるので、使用しているPCやクラウド環境に処理を行うことにより、

また、ファイルを仮想分割して処理する単位であるチャンク単位に圧縮処理を行うことにより、

転送量の大幅な削減を目指す。通常のSFTPコマンドとHSFTを使用し、Amazon Elastic Cloud (Amazon EC2) 東京リージョンから、Amazon EC2北カリフォルニアリージョンへ100KB

のファイルを送ると、転送所要時間は約34分、約34分を1分に短縮、ダウンロード時に約6倍(約51分を約8分)に短縮の高速化を実現している。

8K時代の放送伝送を強力にサポート

セイコーソリューションズ

セイコーソリューションズでは、8K時代の放送伝送を強力にサポートする時刻同期ソリューションを提案する。

PTPとNTPの標準サポートにより、幅広い時刻同期ニーズに対応したTime Preserve Service (Time Preserve Service) は、映像制作現場の時刻同期をIPネットワークで実現するクラウドサービス。50は、自社開発製品のため、国内企業ならではの絶対時刻が必要な充実したサポート体制も紹介。

また、多様な用途に対応する外部出力ユニットを搭載しているため、拡張ポードを4枚まで実装することが可能。もちろんユニットの追加・変更にも柔軟に対応できる。さらに今回は放送業界向けに特化した「コンセプト」も紹介。

ベースバンド系を同一運用可能な「マルチター」

芙蓉TECオプティクス

芙蓉TECオプティクスは、IP・SDIゲートウェイの運用が出来るように考慮している。たとえばシステム同期の概念を導入していることで、スムーズな画面切替を実現し、またリモートパネルは既

ありながら既存のベースバンドシステムと同様の運用が出来るように考慮している。たとえばシステム同期の概念を導入していることで、スムーズな画面切替を実現し、またリモートパネルは既

存のマトリクスシステムと同様の物を使用しているため、違和感なく操作ができるようになっている。今回の展示は規模が小さい構成で組んでいるが、これらの動きを確認することができる。

「IVR3000」はIUの小さな幅ながらHDMI入出力192... 192までのルーティングが可能。そして4Kになると24のマトリクスを組み合わせることが出来る。またカスケード接続もできるため、1056... 1056もの大規模ルーティングシステムにも対応する。

「IPG3000」は基板10枚実装可能、SDI 4入力、4出力、FS付、映像圧縮対応などシステムに合わせて色々と対応可能。



ポータブル大容量高速無線「LED Backhaul」

三技協

三技協は、「第1回映像伝送EXPO」で高速大容量無線伝送システム「LED Backhaul」を展示する。2020年の4K・8K実用放送に先駆けて実用化し、通信プロトコルを交換しながら、ユーザの課題解決につながる「LED Backhaul」の機能や活用シーンを紹介していく。主な特徴は次の通り。

■4K・8K高精細映像の高速無線伝送が可能
高精細映像を無線で伝送するには、容量、速度、電波干渉、費用など多くの制約が生じる。「LED Backhaul」映像は、ハイビジョン映像の16倍の解像度になる高精細映像データを、高速かつ街中に交錯する電波の干渉を受けずに送ることが出来る。

■高い可動性と常設仮設にすぐにも対応可能
現在、実用化に向けて研究が進んでいるスーパーハイビジョンの伝送技術は、用途を限定し機器を固定設置するケースが多い。多くの人が不定期に集まるイベント会場やテントの裏などで、持ち運びが容易で無線免許を必要としない「LED Backhaul」が、強みを最大限に発揮する。

共同開発による世界トップレベルの通信技術・三技協は、次世代の無線通信技術の実用化に向け、2016年4月から欧州最大の応用研究機関であるドイツ・Fraunhofer HHIとの共同開発による「LED Backhaul」は従来の無線通信でカバーできない部分を補う新しい手段として、その活用シーンは、ユーザの課題を解決する新しいもの見方の数に比例して増えていく。



伝送システム

DMIT、「HDMI」、DVI、「DisplayPort」、「LAN」、「KVM」に対応した各種映像伝送機器、ケーブルが展示される。

◆主な出展製品
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル

DMIT、「HDMI」、DVI、「DisplayPort」、「LAN」、「KVM」に対応した各種映像伝送機器、ケーブルが展示される。

◆主な出展製品
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル
4K@60、HDCP 2.1対応 デジタルマルチスリットケーブル